



3月の園だより

2026年3月2日

こぶし保育園

園長 小林 祥子

梅の花が満開となり、温かい日も増え、いよいよ春の訪れを感じます。

早いもので今年度も最後の1ヵ月となりました。卒園や進級を控える子どもたちのこの1年の成長を振り返ると、色々な場面が思い出されて感慨深いものがありますね。

2月には4.5歳児クラスの「交通安全教室」や5歳児クラスの「蓮根小学校への訪問」があり、どちらも、「小学校へ向けて」というねらいのもと、行われました。蓮根小学校では1年生が出迎えてくれ、こぶし保育園の卒園児も頼もしい姿で、めろん組の子どもたちに声をかける姿があり、こうやって引き継がれて、みんな大きくなっていくんだなあ。としみじみ感じてしまいました。

先日の運営委員会の中で卒園児の保護者から「保育園時代の思い出は楽しい事ばかり」「製作物は捨てずにとっておくと、数年後にとても愛おしく思い返せます」といったお話がありました。保育園時代にしか経験できない事。それは「たくさん遊ぶ」です。遊びの中から、学び育っていく事を大切にしながら毎日子どもたちと笑顔で過ごしていきたいと思います。年長組の皆さんにとってはまさに、「保育園時代最後の1ヵ月」です。たくさん遊んで、楽しい思い出をたくさん作ってほしいです。

まだまだ、インフルエンザ等の感染症が流行っていますので、体調には留意しながら過ごしていきましょう。今年度も、こぶし保育園の運営にご理解とご協力を頂きまして、ありがとうございました。

めろん組の子ども達は来月1年生です。

2月には、おまわりさんから「一人で小学校に行くには、一人で安全に横断歩道を渡りましょう」というお話を聞き、実際に横断歩道の渡り方を教えていただきました。子ども達は、いつになく緊張した表情でしたがおまわりさんのお話を良く聞いて渡っていました。

♪「わーたろわたろ なにみてわたろ しんごうみーてわたろー
あかあおきいろ あおになったらわたろー
あかではいけない きいろーは まあだだよー」♪



道路交通法の改定について



道路交通法が改定され、4月から自転車の違反に対し、車と同様に青切符【交通反則通告制度】が導入されます。自転車は車道の左側に寄って走る事が原則となります。

しかし、13歳未満なら、歩道を走行することができます。【年齢的に運転操作や判断力が未熟で、車道では危険を伴う可能性があるからです。

歩道では、歩行者優先であることを忘れないことが大切です。

車道を走る時は、十分に気を付けて走行してくださいね。

安全のため、ヘルメットを着用をお願いします。

ご協力ありがとうございました。

いつもこぶしの運営にご理解とご協力いただきまして、ありがとうございます。

また、この度は「保護者アンケート・全体保護者会アンケート」にご協力いただきましてありがとうございました。すぐに改善できる所は改善し、検討が必要な部分に関しては、職員間で検討し次年度以降に生かしてまいります。

3月の予定

14日(土) 卒園式

18日(水) 0歳児健診

19日(木) 卒園遠足(5歳児)

23日(月) コーシャハイムと合同避難訓練

31日(火) 年長児のお別れ会と進級会

※14日(土)は卒園式の為シーツ掛けはご遠慮ください。

絵本の選び方(1歳編)

絵本を選ぶとき、どんなことをポイントに選んであげたら良いのでしょうか？

今回は1歳代の絵本の選び方の紹介をします。

0歳代と違い、少しずつ言葉の理解も進んできた年齢、1歳になると言葉のリズムが良い絵本を選びましょう。シンプルでも同じ言葉の繰り返しやオノマトペ(擬音や擬態語)が楽しい年齢です。



- 1、 じゃーじゃーびりびり
- 2、 「だるまん」シリーズ

行事を通して育てたいものとは

私たち保育者が行事を大切にするには、そこに子ども達の育ちの経験が詰まっているからです。

友だちと一緒に取り組む中で生まれる協力する気持ち。

人前で表現することで得られる自信。思い通りにいかない経験やそれを乗り越えた時の達成感。

発達段階はひとり一人個人差があります。「最後までその場にいられた」「一歩前に出られた」「自分なりに楽しめた」など、それぞれの子どもにとっての“できた”を大切にしています。

同じ行事でも目標は同じではないため「上手にできる」よりも「その子らしく行事に参加できるか」それが、私たちが準備の中で一番大切にしていることです。行事が終わったあと、子どもたちの表情は少し誇らしげです。

「できた」という経験は、自信となり、次の挑戦への力となります。

保育者にとって行事は学びの連続でもあります。子どもたちの新たな一面に気づき、関わりを振り返り、次への保育へと繋げていきます。

行事はただ結果を見せるためだけの時間ではありません、日々子どもたちと向き合ってきた保育者ひとり一人のたくさんの思いがそこに込められています。これからも、結果だけに捉われないこと、子どもの思いや成長を大切にしながら向き合っていきたいと思っています。

子育て奮闘記4歳児の保護者

少し繊細な我が子は場所見知り、人見知りが激しく、よく行く場所でも人が多かったり、雰囲気が変わると固まってしまうことが良くありました。そこで、事前に「こんな場所だよ」「こんなことをするよ」と伝えるようにしたところ、今では初めての場所でも臆せず行動できるようになりました。

これからも子どものペースを大切にしながら、一緒に世界を広げていきたいと思っています。

給食リクエストボックスから

“野菜のねばねば和え”のレシピが知りたいです。

卒園した子たちもとても大好きで♡

早速、栄養士に聞いてみましましたので作っててくださいねー。

～野菜のねばねば和え～

【材料】4人分

- ・ひきわり納豆2パック
- ・人参1/2
- ・小松菜1/3
- ・もやし1/3
- ・納豆のたれ 2パック分
- ・梅びしお(なければ梅干し) 6g/梅干し
- ・鰹節(好み) 少量

- ① 野菜を食べやすい大きさに切る
- ② 納豆をたれと混ぜあわせる。
- ③ ③に小松菜ともやしを加え、さらに2分加熱する。
- ④ 納豆と野菜をあえて完成。